



# 未来の交通情報が比較できる検索サービスを中心とした行動変容増進アプローチで 大規模道路交通イベントに伴う社会的影響の緩和を目指す取り組み

阪神高速道路株式会社 阪神高速技研株式会社 株式会社メディアエムジー 株式会社ナビタイムジャパン

## 移動計画支援サービスの概要

※「う回路検索システム」は全体像に掲載

### 基本コンセプト 移動支援サービスと政策ツールの統合

① オンデマンドな移動支援情報の提供

② 未来の交通情報の比較提示

定性的な比較

渋滞予想

定量的な比較

自動車 (通行止め期間中ルート)	42分	高速利用なし	12.0km
自動車 (平常時ルート)	27分	高速利用あり	15.4km
電車	33分	乗換1回	ルート未定

所要時間

多様な個別ニーズへの対応 移動支援サービス

計画的な行動変容への誘導 (経路・時間帯・交通手段変更) 政策ツール

### 路線別利用案内 目的に応じた各種移動計画支援サービスへの窓口

◆ 影響路線が多く、期間中に必要となる利用情報 (利用可能出入口、う回乗継対象出入口、渋滞予測) も異なるため、**路線別に利用概要を提供**しつつ、各種移動計画支援サービスに誘導。

タブ切替で路線別に利用情報を表示 ※個別&俯瞰閲覧に対応

期間をタブで切替

利用できる出入口を路線別・上下線別に利用路線MAPと関係付けて提供

注意すべき渋滞の明示と渋滞予測へのリンクを提供

う回乗継の案内 → 「う回乗継ナビ」へ誘導

「渋滞をさけた利用」

「う回路検索システム」へ誘導

### う回乗継ナビ う回乗継の案内を通じて利用出口の分散を図る

◆ 出発・目的路線の選択結果として、**う回乗継対象出入口を渋滞影響程度の比較とあわせて表示し**、乗継ルート提供を通じて**「渋滞をさけた乗継出口の利用」**を訴求。

対象出口～対象入口間の一般道路の乗継ルートが「う回路検索システム」へのリンクを通じて提供

「う回路検索システム」へ誘導

う回乗継を活用した「渋滞をさけた利用」を推奨

う回乗継を使った渋滞をさける

う回乗継の対象出口・入口間の一般道路のルートが検索できます

「う回路検索システム」(株式会社ナビタイムジャパン運営)へ誘導します。

### 時間帯別渋滞予測MAP 時間帯別の渋滞予測図の提供を通じて時間変容を図る

◆ 時間帯別に**アイコンやグラフ等で渋滞影響の程度を比較表示**し、プルダウンやボタンにより渋滞ピークをさけた時間帯の選択 (**「時差利用」**) を促す。

時間帯別の渋滞量を比較を通じて渋滞ピークをさけた「時差利用」の選択を促す

※時間帯のボタンをクリックすると17時台の渋滞予測MAPが表示

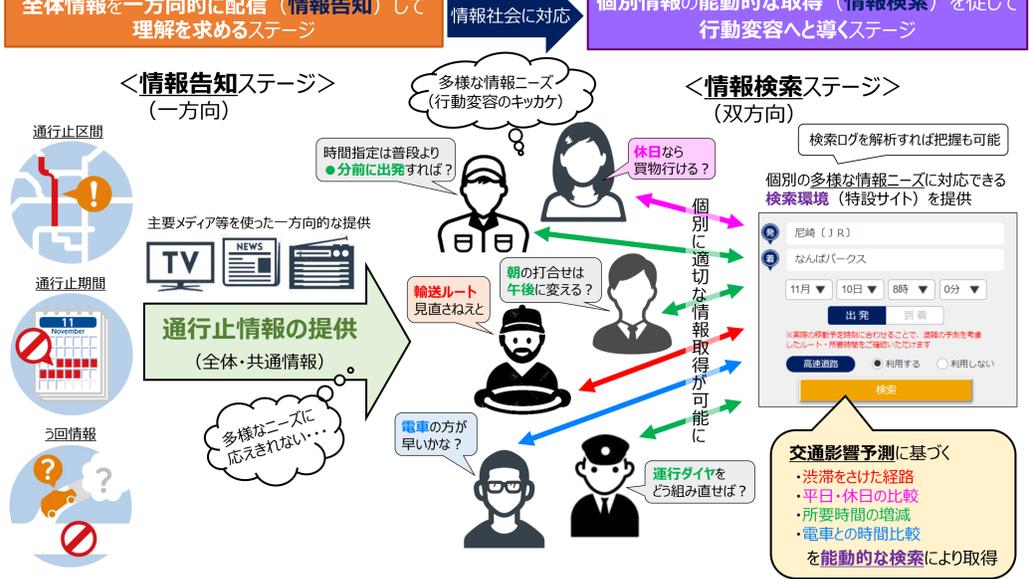
スライド切替で時間帯別に渋滞予測MAPを表示 ※個別&俯瞰閲覧に対応

時間低別の渋滞影響の程度をアイコンで表現し、渋滞影響の少ない時間帯の選択を促す

## 本取組のポイント ～ 行動変容に注力した政策的な視点をサービス化～

### 本取組のポイント① “通行止情報”の提供を“情報告知”から“情報検索”へシフト

◆ 情報社会への対応として、**全体情報を一方向的に配信して理解を求める“情報告知”**のステージから、**個別情報の能動的な取得を促して行動変容へと導く“情報検索”**のステージへシフト。  
⇒ **多様な情報ニーズに対応できる情報検索ステージへシフト**することで適切な行動変容を促進



課題) 能動的な情報取得が前提のため、行動変容が情報ニーズの有無・程度に左右される可能性

### 本取組のポイント② “未来情報の比較提供”で“計画的な行動変容”への誘導へ

◆ 試算した**交通影響予測情報**を、利用目的に応じた複数の**オンデマンドサービスの事前利用を通じて比較形式にて効果的に提供**することで、**社会的影響の緩和に繋がる計画的な行動変容**を後押し。  
⇒ 実効性の高い時空間での分散に繋がる**計画的な行動変容の実行を未来の交通情報**で支援

① 未来の交通情報のオンデマンド検索

② 未来の交通情報の比較形式での提供 (試算した交通予測情報から生成)

③ 計画的な行動変容 (時間変容)

課題) 事前検索への動機付けの仕組みづくりや社会通念の変化がポイント! ?

### 本取組のポイント③ 社会的影響の大きい大規模道路交通イベントにおける高速道路/公共交通のマルチモーダルな移動支援

◆ 特設サイトの「う回路検索システム」は**高速道路会社が公共交通への転換等を促すための初のサービス**であり、これまで縦割りであった**“高速道路と公共交通の間のシームレスな利用比較”**を実現。  
⇒ 大規模道路交通イベント時での**移動選択肢のシームレスな多様化**

課題) 移動環境の変化が大きいモーダルシフトの実行は、その前提となる**事前検索の活性化**に依存! ?

## まとめと今後の展開

- ◆ 交通影響が懸念された環状線の通行止工事において、**“渋滞をさける行動変容”**への誘導を図る**“移動計画支援サービス”**を具現化し、広報戦略とあわせ、**行動変容増進アプローチ**として実装。
- ◆ 特に、**未来の交通情報の比較提供**を通じた**計画的な行動変容実行の支援**を重視。
- ◆ ただし、計画的な行動変容の前提となる**事前検索を活性化させる仕組み作りが重要**と認識。
- ◆ 大阪都心部の交通影響は相応に抑制され、**都市内の大規模道路交通イベント時での利用分散**を図る**“移動計画支援サービス”の有効性が確認**できたため、今後、予定されている大規模通行規制工事や、大阪・関西万博2025などの大規模イベント時でも同様の展開を視野に検討していきたい。
- ◆ また、行動変容に着目して未来の交通情報を比較提供する本取組が目指す先は、**都市内の大規模道路交通イベント時に求められる政策の統合(レベル4に相当)**が為された**“MaaS”**に近いことから、イベント時での**移動支援サービスと政策の統合のあり方**の一つとして、MaaSとしての検討も深めたい。

レベル4 政策の統合

レベル3 サービス供給の統合

レベル2 予約・支払いの統合

レベル1 情報の統合

レベル0 統合なし

交通制約部分全体を最適化し、移動だけでなく生活全体が最適化

予約・決済に加え、料金体系などを含むサービス間で最適化

ルート、時刻表、所要時間等の情報を1か所で検索

それぞれの事業者が、独立してモビリティサービスを提供

1号環状線リニューアル工事2020南行 特設サイト (URL: https://hanshin-exp.co.jp/renewal/loop-s2020/)

(問い合わせ先) 阪神高速道路株式会社 管理本部 大阪全部 保全管理課 見玉 崇 mail: takashi-kodama@hanshin-exp.co.jp